

議員研修報告書

「持続可能な歳出削減策」

石橋孝義

日 時 : 5月9日(火) 14:00～16:30

会 場 : リフレンス新有楽町ビル2階

講 師 : 村山 祥栄 氏 (大正大学地域構想研究所客員教授・前京都市議会議員)

1. アフターコロナの議員目線、夕張から警鐘

持続可能な歳出削減策として

○ 財政再建の道

・なぜ財政再建は必要か?～夕張破綻に学ぶ～

夕張破綻への道

・自治体破綻の危機

1979年 中田鉄治市長誕生「炭鉱から観光へ」

6期24年で観光事業176億円投入

大成功!自治大臣表彰、視察相次ぐ……

しかし、その陰には……破綻したわけとは……

① 第3セクターの粉碎決算

まとめ

- ・ 中田市長の経営の失敗（長期政権の弊害）
- ・ チェック機能の不在（監査委員、議員の責任）
- ・ 住民への説明不足

パワーバランスが崩れた！→そして破綻すると・・・

① 役所が地獄絵図



もはや役所が維持できないレベルに・・・

② 負担激増、サービス低下



役に立たない役所でも負担は最高額・・・

③ 市の国家管理・・・何も決定権持たない自治体に

④ 人口減少問題

1959 年	→	2007 年	→	2021 年
116,278 人		12,270 人		7,175 人

○ 財政再建の道は歳出にあり

- ・ 歳入を増やす労力は莫大。頑張っても効果は薄い。
- ・ 歳出は減らした分だけ楽になる。

故に、財政再建は歳出ベースでやるべし。

○ 行政改革 予算編成を見直せ

- ・ 歳入と歳出のバランスを直さない限り財政再建は永遠にできない!!

○ 金を借りてモノを作る時代は終わった

- ・ PPP を駆使！官民連携で運営委託も。公園もパーク PFI

不用地の有効活用がカギ。最小限で最大効率を！

○ 官民連携の秘策、PFS の活用（1）

- ・ PFS 成果連動型民間委託契約方式

○ PFS の使い道は多岐にわたる

- ・ SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）

社会的インパクト投資

○ 人事制度改革 給与表を見直せ



給料表の見直し次第で総人件費の 1 割以上削減可

○ スマート自治体 DX のすすめ

- ・ コスト削減なら RPA から検討しよう

○ LINE スマートシティ推進パートナープログラムについて

混雑解消、キャッシュレス、情報発信

- ・ 行政サービスへの転用

○ DX は社会全体を変革する動き

街の DX→自治体 DX

モーターリゼーション→公用車整備

◎ 自治体 DX はコスト削減もできるが、それ以上に町の発展に寄与できるという視点で進

めること。

最後に

- 財政再建は早ければ早い方がいい。
- 今後ますます厳しくなることを踏まえ早期に着手を。
- 財政の在り方が変わりつつあることを理解。
- 未来に責任、持続可能な財務体質を構築せよ。
- 財政はすべての政策の根幹、必ず熟知せよ。
- 財政再建なくして街の未来はなし。
- 今ならまだ大半の自治体はソフトランディング出来るはず。

財政再建の要諦

徹底的にブレずに例外を作らずやりきること

今回の受講は、過去を学び近未来に向けてタイムリーな内容で、有効な内容でとてもよかった。

終わり